

### ▶ 学校が楽しいと思える取組

原田小学校をはじめ町内の小学校では、「よりよく生きる力を育む」ことに着目し、SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)などを取り入れた教育活動(エンジョイタイムなど)を推進することで、「主体的に関わる力」「他者と関わる力」「やり遂げる力」などのこれからの社会を生き抜くために必要な力の基礎を育んでいます。



▲百人一首やカルタなどのエンジョイタイムの様子(原田小学校)

### ▶ 個に応じた支援の充実

多様な児童生徒の実態を踏まえ、各小中学校に学習支援員などを配置し、子どもたち1人ひとりのニーズに応じた個別の支援の充実を図るとともに、個に応じたきめ細やかな学習指導および生活指導が展開できるように組織的・計画的な支援を行っています。



▲複数教員による学習支援の様子(宇美中学校)

### ▶ 食育の推進

食育推進のため、各教科や領域の学習時間を通して食に関する取組を進めています。

また、「弁当の日」を実施して学校と家庭が連携した食育を実践しています。



▲宇美町お誕生日給食(10月20日)



▲給食のじかん(宇美東小学校)

## 子どもたち1人ひとりに寄り添った教育改革を

宇美町教育委員会では、これまで宇美町教育振興基本計画に基づき、さまざまな教育改革を進めてきました。そしてこれからも、教育内容の充実や教育環境の整備、学校改革の推進を力強く実行し、1人ひとりの子どもたちが生き生きと学ぶことができる元気な学校を家庭や地域と連携・協力して創っていきたく考えています。

今回紹介したさまざまな取組も「日々の授業をしっかりとやる。」ということが基盤になければいけません。新しい時代に求められる教育に果敢に挑戦しつつも、変わらない価値があるものを大切に、これからも教育委員会と学校が一丸となって、子どもたち1人ひとりに寄り添った確かな教育改革を進めていきたく考えています。



▲佐々木壮一朗教育長



より詳しい各学校の取組の様子は、町ホームページをご覧ください。▶

問 学校教育課 学校教育係 ☎934-2245 FAX933-9211

町内の  
学校教育の  
「いま」取材

## 新しい時代に対応した 学校教育の推進



宇美町には、安産・育児の守護神「宇美八幡宮」があり、古くから子どもを大切にする文化が根付いています。町は今、「子育てするなら宇美町で！」を合言葉に、子育てしやすい環境づくりを整え、町の宝である子どもを安心して産み・育てることができ、新しい時代に対応した教育を受けることができるまちづくりを進めています。今回は、町内の小中学生の「学ぶ環境」をご紹介します。

### ▶ 「ICTを活用」して学ぶ

社会のデジタル化が進むなか、教育現場でも先端技術の効果的な活用が求められています。町内の小中学校では、ICTを活用した学習活動の充実により、誰1人取り残すことなく、公正に個別最適化された資質・能力の育成を推進します。

ICTとは、「Information and Communication Technology」の頭文字をとった略語で、日本語では「情報通信技術」と訳されます。情報技術を活用しながら人とインターネット、さらには人と人がつながる技術あるいは状態のことをICTと表現しています。

### 文部科学省が推進する中心的な施策「GIGAスクール構想」と町の動き

#### GIGAスクール構想とは？

全国の児童生徒を対象に「1人1台端末」と「高速インターネット環境」を整備することで21世紀型教育の実現をめざす文部科学省の取組です。

町はすでに、町内の小中学校の児童生徒にタブレット端末を配布しており、整備されたインターネット環境のもと学校での授業や家での宿題などに活用しています。



▲大型モニターを利用した授業の様子



▲タブレット端末を使った授業の様子(宇美東小学校)

### ▶ 「本場の英語」に触れる

グローバル化が急速に進展する社会において必要な、外国語によるコミュニケーション能力の向上を図るために、ALT3人体制で小学校外国語活動や中学校外国語科の学習指導の充実に取り組んでいます。

みんな  
優しい子ばかりで、  
子どもたちと話すのは、  
とても楽しいです！



▲Mosase Refilwe 先生

#### ALT (Assistant Language Teacher)とは？

外国語を母国語とする外国語指導助手のことで、子どもたちの英語の発音や国際理解の向上のために、授業を補佐する先生です。



▲外国語科(英語)の授業の様子(宇美南中学校)